

平成30年度 運営に関する計画・自己評価 中間反省

目標別シート

視点 心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上

- (1) 校長・教頭・事務長（校務運営委員会） p. 1
- (2) 教 務 部・・・・・・・・ p. 2
- (6) 健康教育部・・・・・・・・ p. 3
- (8) 英 語 科・・・・・・・・ p. 4
- (9) 流通経済科・・・・・・・・ p. 5
- (10) 情報科学科・・・・・・・・ p. 6
- (11) 国 語 科・・・・・・・・ p. 7
- (12) 地 歴 公 民 科・・・・・・・・ p. 8
- (13) 数 学 科・・・・・・・・ p. 9
- (14) 理 科・・・・・・・・ p. 10
- (15) 保健体育科・・・・・・・・ p. 11
- (16) 家 庭 科・・・・・・・・ p. 12
- (17) 芸 術 科（書道・美術・音楽） p. 13
- (18) 1 学 年 担 任 団・・・・・・・・ p. 14
- (19) 2 学 年 担 任 団・・・・・・・・ p. 14
- (20) 3 学 年 担 任 団・・・・・・・・ p. 15

視点 子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現

- (1) 校長・教頭・事務長（校務運営委員会） p. 16
- (3) 総 務 部・・・・・・・・ p. 16
- (4) 生徒指導部・・・・・・・・ p. 18
- (5) 進路指導部・・・・・・・・ p. 20
- (6) 健康教育部・・・・・・・・ p. 21
- (7) 人権教育推進委員会・・・・・・・・ p. 22
- (8) 英 語 科・・・・・・・・ p. 23
- (9) 流通経済科・・・・・・・・ p. 24
- (10) 情報科学科・・・・・・・・ p. 25
- (15) 保健体育科・・・・・・・・ p. 26
- (18) 1 学 年 担 任 団・・・・・・・・ p. 27
- (19) 2 学 年 担 任 団・・・・・・・・ p. 28
- (20) 3 学 年 担 任 団・・・・・・・・ p. 29

大阪市立西高等学校

平成30年10月

【視点：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

(1)【校長・教頭・事務長】

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>① 英語科、流通経済科、情報科学科の各専門学科において、大学での専門教育に繋がる指導内容を取り入れる。</p> <p>② 進路保障のための補習体制等の充実、外部講師の積極的活用、資格・検定取得率の向上を図り、進学実績を前年度より向上させる。また、今年度も就職希望者の内定率100%を達成する。</p> <p>③ 海外姉妹校に生徒を派遣する。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策5 放課後を活用した学習機会の支援】</p> <p>大学での専門教育に繋がる指導内容を取り入れながら、授業の充実や組織的な補習体制を充実させ、英語科、流通経済科、情報科学科の各専門学科の資格・検定取得率の向上を図る。</p> <p>指標 各検定に取得率の向上</p> <p>英語科：実用英語検定</p> <p>流通経済科：日商簿記検定・全商簿記検定</p> <p>情報科学科：経産省ITパスポート・全工情報技術検定</p> <p>資格取得状況をホームページで公表する。</p>	B
<p>取組内容②【施策2 キャリア教育の充実】</p> <p>学習意欲や進路意識を高め進学実績を向上させるため、外部講師による講演会等の実施や大学見学会等への積極的な参加を図る。また、面接指導の充実を図り、昨年度に続き、就職内定率100%を達成する</p> <p>指標 前年度より進学実績を向上させる。</p> <p>就職希望者の内定率100%を達成する。</p> <p>進学・就職状況をホームページで公表する。</p>	B
<p>取組内容③【施策6 英語教育の強化】</p> <p>姉妹校（オーストラリア、ベイビュー・カレッジ）へ生徒を派遣する。また姉妹校からの訪問団のためのホストファミリー登録制度を作り、受け入れ体制の充実を図る。</p> <p>指標 取り組みを進め、海外姉妹校との交流状況をホームページで紹介する。</p>	A

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(2) 〔教務部〕

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】 組織的な学校運営を行い、今まで以上に生徒の実情に応じた教育課程を検討し、社会の変化に対応できる人間を育成する教育活動を推進する。 データシステム部統合により、入試処理・成績処理・調査書作成の各システムを改良するとともに、システム間でもデータの共用化など連動部分を強化する。また選択科目システム・時間割作成システム・名列表作成システムのデータ共通化と操作性の向上をめざす。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策5 教育活動のための時間確保】 授業時間数の確保を考え、年間行事を計画する。</p>	A
<p>指標 曜日ごと・時限ごとの実時間数を数え上げ、バランスがとれるように曜日変更などで調整する。</p>	
<p>取組内容②【施策5 教育活動のための時間確保】 生徒の実情に合わせ、科目を選びやすいようになるよう選択科目について検討する。</p>	B
<p>指標 第2希望に移る生徒の数を減らすように、選択科目ブロックの調整をする。</p>	
<p>取組内容③【施策5 教育活動のための時間確保】 新校統合、新学習指導要領に対応するための教育課程の編成を検討する。</p>	B
<p>指標 教科連絡委員会で意見交換し、生徒の実情に適するよう検討する。</p>	
<p>取組内容④【施策5 教育活動のための時間確保】 追認対象者を減らすとともに、その指導を徹底する。</p>	B
<p>指標 追認対象者に対し全体説明を行い、その後各教科からの説明を行って複数の立場から指導する。</p>	
<p>取組内容⑤【施策5 教育活動のための時間確保】 入試・選択科目・時間割作成・名列表作成システムのデータ一元化と修正をする。また、成績処理・調査書作成システムの改良をする。</p>	B
<p>指標 学校全体の校務で扱っているデータを総合的に理解し、効率的に一元化する。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(6)〔健康教育部〕

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>① 感染症や疾病やケガに対して正しく理解させ予防につとめる。 ② 定期健康診断での事後措置で、異常のあった生徒へは、早期受診を促し、学習へ支障のないよう指導する。 ③ 薬物に対する理解をさせる（薬物乱用防止にも触れる）。 ④ 基本的な生活習慣を身につけさせる。 ⑤ こころの健康問題については、問題解決に向けてスクールカウンセラーへと繋げ、担任、保護者と協力し生徒への支援を行う。 ⑥今年度も定期的に「ほけんだより」を発行し、健康保持増進及び体力向上の啓発を行う。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策7 健康に関する現代的課題への対応】</p> <p>疾病やケガに関する情報の収集に努め、保健だよりや掲示物を通じて発信し、身近な疾病やケガに対する正しい知識を身につけさせる。</p> <p>指標 毎月の保健だよりの発行や、意識づけさせる掲示物の利用による指導を行う。</p>	B
<p>取組内容②【施策7 健康に関する現代的課題への対応】</p> <p>定期健康診断での有所見者に対する生徒への受診の必要性を理解させ、受診率の向上に努める。</p> <p>指標 夏休み明けまでに50%以上の受診率をめざす。</p>	B
<p>取組内容③【施策7 健康に関する現代的課題への対応】</p> <p>薬物・喫煙・飲酒による害や、普段使用している薬品についての知識を深め、健康の大切さを認識させる。</p> <p>指標 配付物や生活指導部との連携をとり、薬剤師や専門家の講演会などを実施する。</p>	B
<p>取組内容④【施策7 健康に関する現代的課題への対応】</p> <p>基本的な生活習慣を身につけさせ睡眠、バランスの良い食事、適度な運動等に心がけ疾病に対する抵抗力をつけさせる。</p> <p>指標 来室生徒や気になる生徒への個別指導にとどまらず、保健委員会の活動を通し、健康意識の向上を図る。</p>	B
<p>取組内容⑤【施策7 健康に関する現代的課題への対応】</p> <p>心の健康について担任からの欠席情報より心因性が疑われる体調不良が続く場合には、担任、スクールカウンセラー、保護者との連携をはかり早期に対応する。</p> <p>指標 欠席情報により、早期発見に努める。</p>	B
<p>取組内容⑥【施策7 健康に関する現代的課題への対応】</p> <p>引き続き、定期的に「ほけんだより」を発行し、啓発に努める。また、生活全般に関わるアンケートの実施により、現状把握する。</p> <p>指標 生活全般に関わるアンケートを実施、分析、公表する。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(8) [英語科]

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった	
年度目標	達成状況
<p>【視点：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>① 効果的な授業案や指導により、英語の運用能力を身につけさせ、英語検定の合格率を、前年度の水準より上げる。</p> <p>② 生徒の希望を実現できる進路指導やガイダンスを行う。</p> <p>③ 組織的な補習体制を組み、生徒の進路実現を支援するため、週1回以上の補習をする。</p> <p>④ 日本文化を発信し、異文化を正しく理解する機会（教材、プレゼンテーション）を増やす。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【施策6 英語教育の強化】</p> <p>少人数制の英語科セミナーや流通経済科・情報科学科コミュニケーション英語Ⅱの授業で、生徒が積極的にコミュニケーションをとることを促す指導案や活動の計画をたてる。英語検定の合格率を前年度より上げる。また LL 設備を見直し、英語教育の更なる充実を図る。</p> <p>指標 週に2回程度（英語科）CNET との少人数制授業を実施する。英語検定合格者数をホームページで公表する。</p>	B
<p>取組内容②③ 【施策6 英語教育の強化】</p> <p>組織的な補習体制を組み、進学に向けて意識を高める。より多くの生徒の学力向上をめざして支援する。また進路実現に向け、指導を充実させる。</p> <p>指標 補習は週1回以上。また長期休暇中に集中講座を行う。</p>	B
<p>取組内容④ 【施策6 英語教育の強化】</p> <p>授業で他国や自国の文化を発表するプレゼンテーションを行う。また、その他、異文化を学ぶ教材を取り入れ、異文化を正しく理解する態度を養う。英語でのプレゼンテーションに加え、コンピュータを利用しながら効果的なプレゼンテーションができることを目標とする。</p> <p>指標 他国や自国の文化を発表するプレゼンテーションを多く行う。各国の行事を体験するイベントを年に数回行う。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(9) 〔流通経済科〕

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>① 科内で昨年度作成した学習ロードマップに基づいた指導の徹底。簿記・英語検定合格率の向上。英語科（全商英検）との連携。</p> <p>② 訪問中学校を選定して、流通経済科の教員は流通経済科入学生の多い学校へ訪問して、詳しい科の説明を行う。また、他科の先生方が流通経済科について、十分説明できるようにする。（科資料の充実・科活動内容の共有）出前授業を複数回行う。学校説明会の内容をブラッシュアップする。</p> <p>③ 各学年の流通経済科教員が、科のガイダンスを2か月に1回のペースで実施をめざす。必要検定補習、英語、小論文の学習指導体制を紹介できるようにする。今年度、学科の特色を生かしたAO入試・専門学科推薦進学者15名を目標。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【施策5 放課後を活用した学習機会の支援】</p> <p>簿記検定においては流通経済科の教員全員で補習等を実施し、英語検定においては英語科の教員としっかりと連携をとり指導していく。</p> <p>指標 全商簿記検定と全商英語検定の合格者が前年度を上回るようにする。取得状況をホームページで公表する。</p>	B
<p>取組内容② 【施策5 市立高等学校の将来構想の検討】</p> <p>流通経済科の教員が学校説明会、出前授業で的確に学科の説明をできるようにする。</p> <p>指標 中学校訪問、学校説明会、出前授業への教員参加回数、人数を昨年度以上にする。</p>	B
<p>取組内容③ 【施策2 キャリア教育の充実】</p> <p>科のガイダンス回数を増やし、明確な進路目標をもたせ、そのために必要な検定や英語、小論文学習のための体制をつくっていく。</p> <p>指標 学習指導体制状況をホームページで公表する。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(10)【情報科学科】

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>① 授業内容を見直し、プロが実際に使用し大学や専門学校でも導入しているソフトウェアを取り入れ、生徒の興味関心を高めるとともに、専門的な技術を向上させる。</p> <p>② 情報技術検定試験1級、ITパスポート、基本情報技術者などの上位資格について早い段階から挑戦する姿勢を身につけさせ、ITパスポートの合格者数の維持、その他の資格の合格者数を増やす。</p> <p>③ 多様化する進路実現の方法を踏まえ、進路ガイダンスやディスカッションを通して具体的な進路の意識を高めさせる。また、各生徒の事情・希望に応じた指導を継続し、生徒の希望進路を実現させる。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策6 ICTを活用した教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2年生の情報科学実習の授業内容を変更し、CG・映像分野の内容を充実させる。また、選択科目では、MayaやUnityを本格導入し生徒の興味関心を高め、課題研究での積極的な作品制作につながるように授業を展開する。 授業を通して情報技術検定、情報処理技術者試験を積極的に受験するよう呼びかける、また、受験者に対する補習を充実させる。 	A
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 2年生の実習で adobe や Autodesk 社のさまざまなソフトを導入し全生徒に対しCG・映像分野の基礎的な技術を学習させる。また、MayaやUnityを本格的に導入する上でメモリーの増設などハードウェアの充実を図る。 2級情報技術検定の合格率の向上、1級情報技術検定や基本情報技術者試験の合格者数を増やす。また、ITパスポート試験の合格者数を維持する。 資格取得状況をホームページで公表する。 	
<p>取組内容②【施策2 キャリア教育の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学見学や高大連携の授業を通して、自らの将来について考える機会を持たせる。 自らの進路実現に向け、日々の具体的な取り組みを考えさせ、実行できるよう指導するとともに、就職・進学に必要な面接指導を行う。 	B
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学見学や高大連携の授業を実施できるよう大学に働きかける。 3年生を対象に、情報科学実習・課題研究の時間を利用して9名の教員で連携し進路指導を強化し、昨年以上の希望進路実現率を目指す。 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(11) 〔国語科〕

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標とおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>① 漢字や語彙の学習により、基礎的な国語力の向上をめざす。 ② 読解力と共に論理的思考力・表現力を身につけさせ、ものの見方・考え方を深める。 ③ さまざまな作品・文章に触れることで、想像力を養い言語感覚を磨いていく。 ④ 生徒の進路希望状況に応じて、補習を実施する。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策5 「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)の推進】 漢字問題集を長期休業中の課題として学習し、提出させる。</p> <p>指標 範囲を定め、定期的に問題集に基づいた小テストを行う。</p>	B
<p>取組内容②【施策5 「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)の推進】 教材を読み、学んだことをもとに自分の考えを文章にまとめさせる。</p> <p>指標 各定期考査、小テスト、提出物等で確認する。</p>	B
<p>取組内容③【施策5 「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)の推進】 各種コンクール等に応募する機会を与え、さまざまな図書に触れたり創作活動をしたりすることで表現力を身につけさせる。</p> <p>指標 夏季休業中の課題として、読書感想文などを提出させる。</p>	B
<p>取組内容④【施策5 放課後を活用した学習機会の支援】 生徒の進路希望状況に応じた小論文指導や、進学者を対象とした補習を実施する。</p> <p>指標 昼休みや放課後を利用した個別指導や、夏休み等に進学補習をおこなう。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(12)【地歴公民科】

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>視点：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>① 各必修科目において高校での地歴公民学習への導入と動機づけを行う。</p> <p>② 1年の「現代社会」の授業において、社会の出来事への関心を高め、現代社会の基本的な問題についての理解を深めさせる。</p> <p>③ 2年の「世界史A」の授業において、世界の近現代の歴史を我が国の歴史との相関を踏まえながら、現代社会の諸問題の原因等に着目して考察させる。</p> <p>④ 3年の「日本史A」の授業において、我が国の近現代の歴史を世界の歴史と関連づけながら、現代社会の諸問題に着目して考察させる。</p> <p>⑤ 演習等の選択科目の授業において、「地歴公民科」を大学入試の受験科目とする3年生を対象として、放課後や夏季休業中を利用して、補習を実施する。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策5 教育活動のための時間の確保】</p> <p>小テストなどを通じて、中学校での基礎的知識の確認を行う。また、白地図を利用した作業も行う。</p> <p>指標 各学期を通じて数回程度行う。</p>	B
<p>取組内容②【施策3 社会的包摂と現代的・社会的課題についての学習】</p> <p>新聞やインターネットを利用しながら、最新のニュースを取り上げて、授業に生かす。また、選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられたことに対応して、政治的教養を育む教育を行う。</p> <p>指標 社会で問題となる事象が起きた時に、それを取り上げる。</p>	B
<p>取組内容③【施策5 「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)の推進】</p> <p>近代社会が成立し発展する過程を、地理的条件や世界の歴史と関連付けて考えさせ、ものごとを実証的な考察によってとらえる歴史的思考力を身に付けさせる。</p> <p>指標 ともすれば堅苦しくなりがちな授業に、必要に応じてエピソードや逸話、また視聴覚教材等を取り入れながらすすめる。</p>	B
<p>取組内容④【施策5 放課後を活用した学習機会の支援】</p> <p>放課後や夏季休業中を利用して補習を実施し、地歴公民科を利用した私立大学の一般入試やセンター入試での高得点をめざす。</p> <p>指標 私大一般入試やセンター入試を利用する生徒を20人程度にまで増やす。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

--

次年度への改善点

--

(13) 〔数学科〕

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>① 机間指導や小テスト等で生徒の理解度を把握し、授業内容に反映する。 ② 学習の動機づけとなる話題や教材を生徒に提示する。 ③ 復習を習慣づけるため、できるだけ頻繁に課題を与える。また問題集を有効に利用し、定期的または長期休業後に提出させ、自主学習の習慣をつけさせる。 ④ 理解度・進路希望等を考慮し、放課後や長期休業中に補習等を行う。 ⑤ 看護・医療系志望の生徒に対して、年間を通じて目的を達成する時期まで補習を行う。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策5 理数教育の充実】</p> <p>生徒の理解度は学科によっても異なるので、個々に理解度を把握しながら、授業内容を充実させていく。</p> <p>指標 考查成績について、昨年度との比較および学科間の比較をしていく。</p>	B
<p>取組内容②【施策5 理数教育の充実】</p> <p>数学科内で話題や教材について連携をとり、お互いに活用していく。</p> <p>指標 連携できるものはデータとして蓄積していく。</p>	B
<p>取組内容③【施策5 理数教育の充実】</p> <p>考查ごと、長期休業ごとに問題集や課題プリントなどを解答させて提出させる。</p> <p>指標 考查ごと、長期休業ごとに問題集などを提出させる。</p>	B
<p>取組内容④【施策5 放課後を活用した学習機会の支援】</p> <p>成績不振生徒に対して、考查後の補習や長期休業中の補習を行う。また進路希望に応じて個別・進路別補習を行う。</p> <p>指標 成績不振生徒の補習や課題提出を考查ごとに行う。</p>	B
<p>取組内容⑤【施策5 理数教育の充実】</p> <p>看護・医療系志望の生徒に対して、早い時期から進路決定するまで補習を行い、志望校への合格をめざす。</p> <p>指標 看護・医療系志望者の100%合格をめざす。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(14) [理科]

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>① 小テスト・宿題を実施し、基礎事項の理解・定着を図る。</p> <p>② 実験、観察などで、安全に対する意識徹底教育と共に、基礎事項の理解を深める。</p> <p>③ 放課後・昼休み・長期休業中を利用した補習を行い、進学希望者に対しては大学入試レベルの実力を、理解が不十分な生徒には基礎学力をつけさせる。</p> <p>④ 視聴覚教材を活用し、環境問題、感染症、エネルギー問題等の時事問題にも、発展的学習として取り組む。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策5 理数教育の充実】</p> <p>小テスト・宿題を課し、基礎事項の理解・定着を図る。</p> <p>指標 単元ごとに、1週間に1度以上実施する。</p>	B
<p>取組内容②【施策5 理数教育の充実】</p> <p>実験・観察をする。</p> <p>指標 安全教育を基盤に行う。</p>	B
<p>取組内容③【施策5 放課後を活用した学習機会の支援】</p> <p>個々の状況に応じて、補習を実施する。</p> <p>指標 進学用補習は主に夏季休業中に実施する。基礎学力定着は各定期考査前後や必要に応じて、放課後等を実施する。</p>	B
<p>取組内容④【施策5 理数教育の充実】</p> <p>時事問題に取り組む。</p> <p>指標 視聴覚教材を活用する。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(15) [保健体育科]

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>① 保健の知識を身につけさせる。 ② 体育理論を身につけさせる。 ③ ストレッチの重要性を理解させる。 ④ 基本的な生活習慣を身につけさせる。 基礎体力の向上を身につけさせる。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策7 健康に関する現代的課題への対応】</p> <p>保健の授業において、身体のしくみや健康寿命を延ばすための知識を身につけさせる。</p> <p>指標 各定期考査において、確認する。</p>	B
<p>取組内容②【施策7 子どもの体力・運動能力向上のための取組みの充実】</p> <p>年間授業計画の中に体育理論の時間を確保し、運動・スポーツの文化的特徴、学び方、豊かなスポーツライフの設計等の知識を理解させ、より効果的な体力向上が実現できるよう指導する。</p> <p>指標 保健体育の教科書、体育編を計画的に実施する。</p>	B
<p>取組内容③【施策7 子どもの体力・運動能力向上のための取組みの充実】</p> <p>ストレッチの重要性について理解させる。</p> <p>指標 ストレッチが正確にできているか、毎時間確認する。</p>	B
<p>取組内容④【施策7 健康に関する現代的課題への対応】</p> <p>早寝早起きし3食きちんと食べるなど、生活習慣を整えさせ、欠席・遅刻・見学することなく授業が受けられるよう指導する。</p> <p>指標 欠席・遅刻・見学の数を確認する。</p>	B
<p>取組内容⑤【施策7 子どもの体力・運動能力向上のための取組の充実】</p> <p>入学時と卒業時にスポーツテストを実施し、自己の体力を把握させ、基礎体力の向上、維持する力を身につけさせる。準備運動後の補強運動やストレッチを正確に行うよう指導する。水泳・持久走の補習をもれなく徹底して行うことにより、基礎体力の向上を図る。</p> <p>指標 補強運動時の様子を観察、授業中のけががないかなどを確認する。昨年度と今年度の記録を比較し、体力が上がっているか確認する。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(16) 〔家庭科〕

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>① 生徒が関心を持って取り組めるような題材を取り上げ、家庭生活に応用できる力を身につけさせる。</p> <p>② 実験・実習は、生徒が主体的に取り組むことができるよう内容を工夫する。</p> <p>③ 家庭生活中で生かす実践力の重要性を理解させる。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策5 放課後を活用した学習機会の支援】</p> <p>日常生活において実践できるような身近な教材を取り入れ、イメージしやすい状況をつくり、生徒が家庭生活に応用できる力をつけさせる。</p> <p>指標 各定期考査やレポートなどにより学習の理解度を図る。</p>	B
<p>取組内容②【施策5 「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)の推進】</p> <p>実験・実習を通して知識や技術の修得に加え、計画や意思決定、結果の分析などができるような内容にし、生徒同士のコミュニケーションを通して学習への理解をさらに深めさせる。</p> <p>指標 家庭基礎では年4回程度、生活実践では年10回程度の実習・実験を実施し、生徒が積極的に取り組む機会をつくる。</p>	B
<p>取組内容③【施策2 キャリア教育の充実】</p> <p>家庭生活中で活用できる実践力を身に付けさせ、生活力の重要性を理解させる。</p> <p>指標 各定期考査やレポートなどにより学習の理解度を図るとともに、実践的な力を実習で身に付けさせる。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(17) [芸術科]

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>①書道 書道に意欲的・主体的に関われる生徒を増やす。</p> <p>②書道 完成度を高め、漢字・仮名・漢字仮名交じりの書の学習に個性的な思考・判断ができる生徒を増やす。</p> <p>③美術 道具・素材を生かし創造的な表現をするために必要な技術を身につけた生徒を増やす。</p> <p>④美術 美術に意欲的・主体的に関われる生徒を増やす。</p> <p>⑤音楽 音楽に関心を持ち、どのようなジャンルでも意欲的に取り組める生徒を増やす。</p> <p>⑥音楽 音楽の基礎を身につけて、読譜力、ソルフェージュ力を増やす。</p> <p>⑦音楽 合唱作品に取り組み、自然に協調性を身につける。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【施策5 「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)の推進】 筆と半紙だけでなくいろいろな用具・用材を使って興味をもたせつつ、日常生活で使えるものから古典的なものへと多種にわたる書道を指導する。</p> <p>指標 定期考査で半分以上の生徒が高得点をとる。学期ごとに2点以上の作品を完成させる。(3学期は期間が短く1点)</p>	B
<p>取組内容② 【施策5 放課後を活用した学習機会の支援】 筆と半紙だけでなくいろいろな用具・用材を使って個性的なものにしつつ、さらに外部の展覧会に出品することを目標にすることで作品をまとめる力を身につける。</p> <p>指標 学期ごとに1度は外部の展覧会に出品する。</p>	B
<p>取組内容③ 【施策5 「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)の推進】 ・それぞれの課題に応じた作品を作り技術を身につけていく。 ・多くのものに触れて感性を磨く。</p> <p>指標 学期ごとに約2作品を制作完成させる。スケッチブックが3学期にはすべて埋まるように感じたもの描きとめていく。</p>	B
<p>取組内容④ 【施策5 放課後を活用した学習機会の支援】 ・作品を学校外で発表することで意欲を持たせ完成度をあげる。 ・制作だけではなく、展覧会を見に行ったり、美術に関することを調べたりして興味を持たす。</p> <p>指標 文化祭、芸術祭に選択生徒の半数が展示する。レポートを3学期までに1つは書き上げる。</p>	B
<p>取組内容⑤ 【施策2 音楽・吹奏楽に親しむ機会の創出】 交響曲、協奏曲などいろいろな音楽の鑑賞をする。オーケストラの奏でる音色や、立体的な音楽構造を感じ取る。</p> <p>指標 授業回数：2時間 頻度：1カ月に2作品程度 取り組む人数：個人</p>	B
<p>取組内容⑥ 【施策2 音楽・吹奏楽に親しむ機会の創出】 五線譜の理解、リズムの理解等に取り組む。</p> <p>指標 授業回数：毎回 頻度：1学期・2学期中 取り組む人数：個人</p>	B
<p>取組内容⑦ 【施策5 「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)の推進】 自分たちでグループを組み、合奏や合唱など自由な編成で音楽活動に取り組む。</p> <p>指標 授業回数：10回 頻度：2学期中 取り組む人数：2～10人程度</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(18)〔1学年担任団〕

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>① 朝学習の時間を活用して基礎学力の定着を図る。また、毎日の家庭学習を1時間以上自主的におこなう習慣を身につけさせる。</p>	B
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策5 放課後を活用した学習機会の支援】</p> <p>朝学習の時間を活用して、国語力・計算力・社会力を中心とした基礎学力の定着を図り、毎日の家庭学習を1時間以上自主的に行う習慣を身につけさせるよう指導する。</p> <p>指標 家庭学習時間の定着状況。学習内容の8割以上の理解をめざす。</p>	B
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(19)〔2学年担任団〕

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝学習を継続し、基礎学力の定着をさらに深めるとともに、より専門的で高度な学力の向上をめざす。自主的に1日最低1時間の家庭学習をおこなう習慣を身につけさせる。 受動的な学習を基にしながら、自主的に能動的な学習をする姿勢を育成し、自ら進路を見いだす姿勢につなげさせる。 	B
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策5 放課後を活用した学習機会の支援】</p> <p>引き続き朝学習を実施し、英語、国語、計算、時事の他に、専門学科の日も設け、基礎学力の定着を図る。朝学習の習慣から自主的な学習の意義を理解させ1日最低1時間の家庭学習の習慣にもつなげていく。</p> <p>指標 朝学習の定着と家庭学習習慣の定着とともに提出物の確実な提出。学習内容の8割以上の理解をめざす。</p>	B
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容②【施策5 放課後を活用した学習機会の支援】</p> <p>1年生からの自らの学習状況を基にして、進路を見いだしていくための自主的、能動的な学習の必要性に気付かせるとともに、生徒個々の進路状況を把握しな</p>	B

がら必要に応じて指導を行う。	
指標 自主的、能動的な学習と進路研究ができるよう指導する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(20) [3 学年担任団]

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>① 自ら考え判断し、行動や表現する力を育てる。受動的な学習から自らの目標を設定し、自ら進んで能動的な学習をする姿勢を育成し、自己実現へ繋げる。</p> <p>② 生徒一人ひとりの進路の目的を把握し、保護者・進路指導部と十分な連携とりながら、的確な支援を行えるよう配慮する。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策5 放課後を活用した学習機会の支援】</p> <p>引き続き朝の学習時間を設定し、英語、国語、時事関連や専門学科の基礎知識の定着を図る。基礎学力の不足については、放課後等を利用し自主的に最低1時間家庭学習をおこなう習慣を身につけさせる。生徒個々の進路状況を把握し、必要に応じて指導を行う。</p>	B
<p>指標 家庭学習時間の定着。学習内容の8割以上の理解をめざす。提出物の確実な提出。日々の家庭学習時間最低2時間を目指す。</p>	
<p>取組内容②【施策2 キャリア教育の充実】</p> <p>希望する進路の実現にむけて知識や学力を高めるために、進路指導部と連携し、適宜講話等の指導を行う。保護者・進路指導部と十分な連携とりながら、的確な支援を行う。1学期中に生徒全員との進路に関する懇談を実施し、生徒一人ひとりの進路希望を実現させる。</p>	B
<p>指標 希望する進路が実現できるように指導する。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

(1) [校長・教頭・事務長]

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>① 挨拶の励行、皆勤・精勤者の増加、遅刻者の減少を図り、前年度より向上したことを検証する。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策2 道徳教育の推進】</p> <p>登校指導、挨拶運動の実施、アンケート調査等の実施により改善率を検証する。</p>	B
<p>指標 今年度の皆勤・精勤率50%以上。1日当たり平均遅刻者数3人以下。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(3) [総務部]

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>① 本年度の国際交流事業を来年度につながる形で遂行する。</p> <p>② 国際交流事業として姉妹校2校との交換留学・相互訪問・受け入れの計画・準備をする。</p> <p>③ 中学校訪問について、過去のデータを吟味し、訪問計画を策定する。</p> <p>④ 教育活動への保護者の理解を深めるため、学年懇談会や授業参観を実施する。</p> <p>⑤ 新入生対象のアンケートを実施し、その結果を踏まえて広報活動・体験入学などの内容を精査し、内容の充実を提言する。</p> <p>⑥ 学校案内・体験入学チラシ・学校紹介ポスターを効率よく活用する。</p> <p>⑦ 生徒の感受性育成の一助として、全学年を対象とした視聴覚行事を実施する</p> <p>⑧ 図書室の環境整備に取り組む。</p> <p>⑨ 大阪市立中央図書館と連携して、生徒の読書習慣の育成を推進する。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策6 多文化共生教育の推進】</p> <p>姉妹校パークデール校の本校への受け入れの際に、全校的に意識を高める。</p>	B
<p>指標</p> <p>全校的に派遣人数の確保したうえで、受け入れプログラムの意義を校内に周知する。</p>	

<p>取組内容②【施策6 多文化共生教育の推進】 今年度のベイビュー校への訪問団の派遣と来年度の受け入れにおいても両校が連携し、交互にスムーズに実施できるように調整する。</p>	B
<p>指標 隔年で、パークデール校・ベイビュー校の訪問・受入れを実施する。</p>	
<p>取組内容③【施策3 保護者や地域住民に開かれた学校園の運営】 当該中学校卒業生の本校在学生の状況・などの資料を作成する。</p>	B
<p>指標 本校を受験する生徒の数が多し中学校への訪問実績を増やす。</p>	
<p>取組内容④【施策3 保護者や地域住民に開かれた学校園の運営】 本校生徒の保護者や中学生・その保護者の本校教育への理解を深めることを目標に、生徒の普段の姿を紹介できるような授業参観や体験入学など企画する。また、PTA や後援会との活動をさらに活性化し、チーム西高の意識を高める。</p>	B
<p>指標 授業参観を体験入学時に実施し効率化を図る。PTA 実行委員会の開催・活動の充実に努める。</p>	
<p>取組内容⑤【施策3 保護者や地域住民に開かれた学校園の運営】 体験入学において、学校紹介ビデオの活用や各学科の授業を体験させる等、中学生へのPRを図るとともに、新入生対象にアンケートを実施・分析し、それを踏まえてさらなる広報活動の充実に努める。</p>	B
<p>指標 体験入学の内容を把握し、生徒の反応を調べ、来年度の体験入学に反映する。</p>	
<p>取組内容⑥【施策3 保護者や地域住民に開かれた学校園の運営】 各分掌・クラブなどへの提出依頼により最新のデータを収集し、データシステム管理部・事務局などの分掌と連携し効率よい広報活動を行う。</p>	B
<p>指標 写真・文章・デザインなどの最新のデータを収集・整理・統合し、デジタル・データ化したものを体験入学や説明会・ビラなどのビジュアルエイドに使用し、効果を高める。</p>	
<p>取組内容①【施策2 伝統芸能に親しむ機会の創出】 芸術鑑賞として古典芸能「バラエティー寄席」の鑑賞会を実施する。</p>	B
<p>指標 上方演芸に触れることで、伝統芸能に対する興味関心を高めるとともに、情操教育に役立たせる。</p>	
<p>取組内容②【施策3 学校図書館の活性化】 円滑な蔵書管理を行うために電算化の準備を進める。また、図書委員会を活用し、生徒の図書館利用を促進する。</p>	B
<p>指標 生徒の学校図書館利用を啓発するために、「図書館だより」を発行する。また、学校として読書感想文コンクールに参加することによって、読書習慣の定着をめざす。</p>	

取組内容③【施策3 教育コミュニティづくりの推進】 大阪市立中央図書館の職員の方々と定期的に情報交換をしながら、生徒の読書習慣の定着につながる企画等を検討していく。	B
指標 図書委員会で中央図書館への見学会を実施し、校内の活動に反映させる。また、大阪市立中央図書館の職員の方々と連携し、本の展示企画を行う。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(4)【生徒指導部】

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組みず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>① 遅刻0の日の増加をめざすとともに、服装、頭髪、言動の乱れをなくす。また、挨拶が1日の始まりとなるよう挨拶の励行を行う。</p> <p>② 全体集会や講演会で人権を尊重する大切さを訴え、他者を思いやる心の育成を図るとともに警察と連携し交通規則の順守、いじめや差別を許さない意識向上をめざす。</p> <p>③ 生徒指導部と全校生徒とのコミュニケーションをできるだけ密にとるように努め、事件が起こってからでの指導ではなく、事件を起こさないように事前の指導に力を注ぐ。問題行動の実態把握と未然防止に取り組む。また、SNSの危険性を伝え、利用にあたってのモラルの向上をめざす。</p> <p>④ 1年生の部活動加入率7割以上をめざす。また団活動、部活動を通じ学年を超えた協力関係を築き、リーダーシップや自主性、連帯感を養う。</p> <p>⑤ 生徒会執行部と各クラスの連携を深め、学校行事の運営に関わっているという自覚や責任感・充実感を持たせる。裏方で行事を支えてくれている人がいることを理解し、感謝の気持ちを持てる生徒を育てる。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策2 道徳教育の推進】 登校時の教職員全員による校門指導の実施。昼休みの校内巡視の実施。始業式、集会時の服装・頭髪検査と学期を通じた継続指導。携帯のマナー指導。遅刻の多い生徒への面談指導、早朝登校指導。などにより道徳心、基本的な生活習慣を身につけさせる。	B
指標 遅刻者数1日当たり平均5人以下。基本的な生活習慣の定着を目指す。	
取組内容②【施策2 人権を尊重する教育の推進】 毎月1回、学年と生徒指導部で連絡会を開催し情報交換を行い、生徒の状況を把握、いじめや問題行動を防止する。始業式、終業式において人権を尊重する大切さ	B

<p>を訴える講話を行う。警察と連携し1年生への交通安全教育の開催、2年生へ薬物乱用防止教育など自己と他者の心身を尊重する意識を高める。</p>	
<p>指標 いじめ・いやがらせ・交通事故0、安心して平和な教室、学校を目指す。</p>	
<p>取組内容③【施策1 いじめ・問題行動に対応する制度の活用】 日々の生徒指導部と生徒とのやりとりの中で、一方通行の指導にならないように心がけ、生徒の気持ちを聞く余裕を持って指導にあたる。また、生徒指導部会等において他校と情報交換し問題行動の実態把握、未然防止に取り組む。</p>	B
<p>指標 長期欠席者や、欠席・遅刻の増加傾向にある生徒の把握とその生徒一人一人に対応するよう最善をつくす。</p>	
<p>取組内容④【施策2 キャリア教育の充実】 合格者説明会、入学式当日の勧誘活動、部活動紹介を通じて体験入部を奨励する。月1回開催する部長会議においてリーダーシップを育成する。結団式を行うことで団活動の決意をかため、学年間の交流を深める。団長、生徒会役員のリーダーシップを育成する。年度末に次年度に向けたリーダー研修会を開催する。全生徒が部活動、団活動、学校行事へ自主的に取り組む姿勢を養う。</p>	B
<p>指標 学業成績では見えない生徒の長所の発掘・開発。</p>	
<p>取組内容⑤【施策2 キャリア教育の充実】 生徒会定例会における計画立案指導、各種委員会の活動指導などにより、自主的な生徒会活動を実現する。行事ごとに、生徒会執行部等の活動を理解させる。風紀委員の早朝挨拶運動を継続する。</p>	B
<p>指標 年度ごとに特色のある計画を立案し、実行する。</p>	

<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初の交通死亡事故により、命の尊さ、交通事故の恐ろしさを実感させられた。その後は、大きな事故、事件なく順調に進捗している。遅刻者数の増加が続いているのが心配であるが、欠席者数の減少を目標にしながら、少しでも減少するように根気強く指導を続けたい。 ・生徒会を中心に行事がスムーズに行われ、活気ある学校になっている反面、我儘を抑えられない生徒によるマナー違反等の指導に手をやいている現状である。

<p>次年度への改善点</p>

(5) [進路指導部]

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>① 進路説明会・企業でのインターンシップ等を通じて、目的・目標や職業意識等を育成する。</p> <p>② 就職内定率100%をめざし、公共職業安定所（ハローワーク）との連携を密にしながら就職実績を向上させる。</p> <p>③ 一人ひとりの目標実現に向けて、きめ細かな進路指導・面談・長期休業中の補習等を実施し学力を向上させる。</p> <p>高大連携によって、生徒の学習意欲や目的意識を高め、適切な進路選択を支援する。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策2 キャリア教育の充実】</p> <p>各学年、様々な内容の進路説明会を実施し、大学から講師を招へいするなどして、進学・就職に関する各種説明会を行う。</p> <p>指標 3年生には看護医療系・AO入試・小論文対策講座・指定校推薦・センター試験・公務員受験対策などの説明会をおこなう。</p>	B
<p>取組内容②【施策2 キャリア教育の充実】</p> <p>公共職業安定所（ハローワーク）による講話や労働局主催による就職ガイダンス、応募前職場見学・企業研究などを通じて職業観・勤労観を身につけさせる。</p> <p>インターンシップ、キャリア教育等を実施し、職業観の育成を系統的・継続的に行う体制を整える。</p> <p>指標 就職希望者内定率100%をめざす。</p>	B
<p>取組内容③【施策2 キャリア教育の充実】</p> <p>模擬試験（外部）の案内をおこない、客観的な学力の把握に努めさせる。</p> <p>説明会などを通じて、多様な入試制度に対応した情報の提供・指導を行い、生徒一人ひとりの進路実現を推進する。</p> <p>センター試験受験者と、それを利用しての私大受験者の増加をめざす。</p> <p>指標 進学希望者に模試を受験することを勧める。面談を随時実施し、個別に対応する。センター試験・推薦入試などの説明会を実施する。進学・就職状況をホームページで公表する。</p>	B
<p>取組内容④【施策2 キャリア教育の充実】</p> <p>高大連携事業を積極的に活用する。</p> <p>大学の先生を招き、特別講義を通じて生徒の学習意欲や目的意識を高め、適切な進路選択を支援する。</p> <p>指標 特別講義を開催し、多くの生徒の参加を促す。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>進路説明会・模擬試験・高大連携事業などを通じて、個々の進路意識は向上している。生徒が目標とする進路を実現するため、さらにきめ細かく指導を続けたい。</p>

次年度への改善点

(6) [健康教育部]

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>いじめ、不登校、携帯インターネットによる誹謗・中傷など現代的課題への早期発見と早期対応につとめる。</p> <p>支援の必要な生徒に対する個別の支援計画をたて学校全体で取り組む</p> <p>校内美化、ゴミの減量化の徹底。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策2 人権を尊重する教育の推進】</p> <p>いじめに繋がるような書き込みなどインターネット利用のマナーについての指導や、睡眠不足による学習障害等にならないように校内の共通理解を図る。</p> <p>指標 保健室来室生徒への対応によって、早期発見・指導に取り組む。</p>	B
<p>取組内容②【施策2 人権を尊重する教育の推進】</p> <p>支援の必要な生徒に対して個別に調査し最適な支援計画を立てる。</p> <p>指標 学年、担任を通して、本人・保護者・主治医などと相談の上計画をたてる。</p>	B
<p>取組内容③【施策5 環境を守る意識の醸成】</p> <p>校内清掃の徹底。ゴミの持ち込みやガムの吐き捨てをなくすよう指導し、家庭の理解・協力を得る。下校途中でのポイ捨てなどマナーについても指導する。</p> <p>指標 校内清掃時の清掃日誌の工夫や監督の先生の協力を得る。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(7)〔人権教育推進委員会〕

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>時代のニーズに即した身近な問題を取り上げるなど、生徒の実態に応じた人権教育を推進する。</p> <p>P T A人権委員をはじめ保護者や地域との連携をはかり、さまざまな人権問題についての啓発をめざして、講演会等の研修会を実施する。</p> <p>教職員間での人権意識の向上をめざして、講演会等の研修会を実施する。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策2 人権を尊重する教育の推進】</p> <p>L H Rを利用して、さまざまな方面から人権問題に対する取り組みをおこなう。</p> <p>指標 人権教育の年間指導計画どおりに実施する。</p>	B
<p>取組内容②【施策2 人権を尊重する教育の推進】</p> <p>全校一斉の人権学習の機会を利用して保護者にも参加をうながす。</p> <p>指標 年1回以上実施する。</p>	B
<p>取組内容③【施策2 人権を尊重する教育の推進】</p> <p>全校一斉の人権学習の講演会に教員も参加をして、研修をおこなう。</p> <p>指標 全教職員が参加する。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(8) [英語科]

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>① 授業などで異文化理解の大切さを理解させ、姉妹校への語学研修やホームステイ申込者数を、前年度より増やす。</p> <p>② 英語をより実践的に使えることをめざす教育を充実させ、訪問団との交流の参加者数を、前年度より増やす。</p> <p>③ 英語で発信することの意義を学ばせ、スピーチコンテストなどへの参加者数を、前年度より増やす。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【施策2 人権を尊重する教育の推進】</p> <p>CNET との授業や、異文化理解を促す教材を用いて、異文化理解を深め、個人やグループで世界の様々な問題を話し合い、自らの意見を発信する機会を増やす。</p> <p>指標 少人数セミナーで、文化の違いを尊重しあえる授業案を作る。また、姉妹校交流等への積極的な参加を促す。</p>	B
<p>取組内容② 【施策6 多文化共生教育の推進】</p> <p>授業で積極的に英語を用いてコミュニケーションをする活動を増やし、海外からの訪問団受け入れの際に積極的に交流に参加できるようにする。</p> <p>指標 授業でペア、やグループ活動を増やし、コミュニケーション力を高める。</p>	B
<p>取組内容③ 【施策6 多文化共生教育の推進】</p> <p>スピーチ活動やディスカッション活動で、自分の意見を英語で発信する意義を学ばせ、その能力を養う。</p> <p>指標 少人数セミナーで、スピーチやディスカッションの活動を多く取り入れる。また、スピーチコンテストへの積極的な参加を促す。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(9) 【流通経済科】

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>① 校外活動への参加生徒、提供する機会を増やす。（見学会・講演会・実習・コンテスト・発表・インターンシップ・高大連携企画 参加者各学年10名以上）</p> <p>② 「ビジネスマナー」や「マーケティング」などの科目を通して、自主的に課題を見つけ、イベントや販売実習などの企画・実施・総括までを行う。アクティブラーニングを多種多様に取り入れ、実際に地域や企業などの協力を得て活動し、科の取り組みについて地域や中学校での認知度を高める。3年次に学科全体で取り組む。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策2 キャリア教育の充実】</p> <p>多種多様なアクティブラーニングを取り入れる。外部講師による租税教室や金銭啓発セミナーなどの講座で、通常授業では得られない体験をさせる。また、地域でのイベントや販売実習を通じて、接客マナーを学ぶとともに、問題解決能力を身につける。地域や企業などの協力を得て活動し、コミュニケーション能力を育成し、かつ本校の流通経済科の活動について認知度を高める。</p> <p>指標 講演会や販売実習など合わせて年3回以上実施する。</p>	B
<p>取組内容②【施策2 キャリア教育の充実】</p> <p>校外の活動や本校独自の高大連携事業を活用して、大学の見学会や体験講義に参加させる。また、各大学で行われるコンテストなどにも積極的に参加させる。生徒が大学教育に興味・関心が持てるように、進学を希望する生徒の目的意識を高める。</p> <p>指標 大学の見学会、講演会、コンテストなどに10名以上の生徒が参加する。</p>	B
<p>取組内容③【施策2 キャリア教育の充実】</p> <p>ワープロ実習、ビジネスマナー実習(茶道、名刺交換)などの体験学習に在校生をアシスタントとして参加させる。実習を通じて、在校生自身で本校の学習内容等を伝えることによって、中学生の本校への理解が深められるようにする。</p> <p>指標 在校生10名以上が参加する。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(10)〔情報科学科〕

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>① 授業や実習を通じて、ネットワーク時代の情報管理と取扱いのモラルについて意識させる。</p> <p>② ネットワーク通信の仕組みを理解することにより、安全かつ合法的な利用方法を習得させ、自己理解、他者理解を通じて道徳心の育成を図る。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策2 人権を尊重する教育の推進】</p> <p>特に、ネットワーク利用の際に問題となることが多い。人権に絡む事象について、いくつかの事例を挙げながら、利用者の視点だけではなく技術的な側面からも理解させる。</p> <p>指標 1年生を対象に、コンピュータ基礎や情報技術基礎の授業において、可能な範囲で実際に機器を操作しながら指導する。</p>	B
<p>取組内容②【施策2 道徳教育の推進】</p> <p>ネットワーク通信の技術について正確に理解させるとともに、それを管理する者の責任と義務についても自覚させる。また、道徳教育・キャリア教育を意識した実践を行う。</p> <p>指標 全学年の専門科目の授業は、その時々レベルに合わせて、技術だけでなく技術者のモラルについても学ばせる。また、自己の成長を確認できるように、全学年で質問紙調査を定期的実施する。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(15)〔保健体育科〕

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>① 体育の授業の中で、集団でさまざまな学習をし、規範意識・協調性を身につけさせる。</p> <p>② 人間関係の基本は挨拶である。授業の始まりと終わりの挨拶を徹底させる。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策1 安全教育の推進】</p> <p>体育授業において、集団行動や、いろいろな種目の試合をする中で、協調性や規範意識が必要である。それらをしっかり身につけるよう指導する。</p> <p>指標 ルールを守り、安全に行えているか確認する。</p>	B
<p>取組内容②【施策2 道徳教育の推進】</p> <p>授業の始まりと終わりの挨拶を徹底させる。できていなければその都度やり直しをさせる。</p> <p>指標 毎時間の挨拶がきちんとできているか確認する。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(18) [1 学年担任団]

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>① 高校生としての「マナー」をしっかりと身につけ、自発的に「ルール」「時間」「約束」を守ることができる人間形成を行う。</p> <p>② 特別活動を通して自己理解や他者理解を深め、リーダーシップや協調性、自主性を身につけさせる。</p> <p>③ 保護者や関係部署および地域社会との連携を密にして、問題行動の把握と未然防止にしっかり取り組む。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【施策2 道徳教育の推進】</p> <p>高校生としての「マナー」をしっかりと身につけ、自発的に「ルール」「時間」「約束」を守ることができるよう指導する。</p> <p>指標 挨拶の励行、正しい身だしなみ、言葉遣い、欠席・遅刻・早退を減らすなどの指導で、正しい生活習慣を身につけさせる。皆勤・精勤率60%以上をめざす。</p>	B
<p>取組内容② 【施策2 道徳教育の推進】</p> <p>特別活動を通して自己理解や他者理解を深め、リーダーシップや協調性、自主性を身につけさせるよう指導する。</p> <p>指標 団活動に自主的に参加し、参加率100%、部活動・生徒会活動への加入率70%をめざす。</p>	B
<p>取組内容③ 【施策3 保護者や地域住民に開かれた学校園の運営】</p> <p>家庭との連絡、地域との連携を密にして、問題行動等を事前に防ぐとともに、事象が発生した場合には、速やかに適切な対応がとれるように、協力体制を確立する。</p> <p>指標 指導方針の理解と協力をいただけるように、各学期に教育相談を実施する。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(19)〔2学年担任団〕

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生としての「マナー」をしっかり身につけ、自発的に「ルール」「時間」「約束」を守ることができる人間形成を行う。欠席・遅刻を減らせるよう自己管理を徹底させる。 ・学校行事・部活動など、特別活動へ積極的に参加し、上級生としてふさわしい集団行動での自主性や協調性、リーダーシップを身につけさせる。 ・日頃から保護者や地域社会および関係部署との連携を密にし、問題行動を未然に防ぐとともに、問題発生時には、状況の把握、迅速な対応、円滑な解決に努める。 	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策7 健康に関する現代的課題への対応】</p> <p>様々な場面でルール、マナー、時間、約束を守ることの大切さを指導する。 また、自己管理によって基本的生活習慣が確立できるよう指導する。</p> <p>指標 昨年度よりも遅刻、欠席の数を減少させ、年間精皆勤率 60%以上をめざす。</p>	B
<p>取組内容②【施策2 道徳教育の推進】</p> <p>学校行事・部活動など、特別活動への積極的な参加を促し、その活動の中で、上級生としてもふさわしい自主性や協調性、リーダーシップを発揮できるよう指導していく。</p> <p>指標 各行事への積極的な全員参加と、全体をまとめるリーダーの出現。団活動で上級生を補佐するサブリーダーの出現。2年生からの部活動加入の勧め。</p>	B
<p>取組内容③【施策3 保護者や地域住民に開かれた学校園の運営】</p> <p>日頃から保護者や地域社会および関係部署との連携を密にし、問題行動を未然に防ぐとともに、問題発生時には、状況の把握、迅速な対応、円滑な解決に努める。</p> <p>指標 保護者との適宜の連絡や懇談の実施。学年会・生徒指導部などとの適宜の連絡会の実施。問題発生時の迅速、的確な各部署との連携。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(20) [3 学年担任団]

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>① 自主的で良好な基本的生活習慣を確立し、遅刻・欠席を減少させ、自己管理を徹底させる。</p> <p>② 学校行事等の日常生活を通じてルールやマナーを守り、社会性を身につけた人格を育成するよう指導していく。</p> <p>③ 部活動・生徒会活動を通して、最上級生としてふさわしい、集団行動での自主性やリーダーシップを身につける。</p> <p>④ 保護者や関連各部署及び地域社会との連携を密にし、問題行動を未然に防ぐとともに、問題発生時の迅速な対応と円滑な解決に努める。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策7 健康に関する現代的課題への対応】</p> <p>自主的で良好な基本的生活習慣を確立し、遅刻・欠席を減少させ、自己管理を徹底させる。</p> <p>指標 心身の健康管理の大切さとその方策を伝える。また各クラスにおいて遅刻、欠席の減少をさせ、自己管理を徹底させる。年間精皆勤率 60%以上をめざす。</p>	B
<p>取組内容②【施策2 道徳教育の推進】</p> <p>学校行事等の日常生活を通じてルールやマナーを守り、社会性を身につけた人格を育成するよう指導していく。</p> <p>指標 挨拶や正しい言葉遣いを徹底させ、安全で快適な校内環境の維持をする。また登下校中の交通事故をなくす。</p>	B
<p>取組内容③【施策2 キャリア教育の充実】</p> <p>部活動・生徒会活動を通して、最高学年としてふさわしい、集団行動での自主性やリーダーシップを身につける。</p> <p>指標 各行事への全員参加を促し、取り組み状況をアンケート等で検証する。</p>	B
<p>取組内容④【施策3 保護者や地域住民に開かれた学校園の運営】</p> <p>保護者や関連各部署及び地域社会との連携を密にし、問題行動を未然に防ぐとともに、問題発生時の迅速な対応と円滑な解決に努める。</p> <p>指標 学年会・生徒指導部との連絡会を開き、適宜懇談を実施することで、迅速で的確な指導を徹底する。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点